

地域密着サービス 運営推進会議 報告書

施設名：社会福祉法人 出東福祉会 出東デイサービスセンター

施設種類：地域密着型通所介護

日時：令和7年8月8日(金曜日)14:30～16:00

開催場所：出東デイサービスセンター はなはうす

出席者：出雲市高齢者福祉課 1名

出雲高齢者あんしん支援センター 1名

地域住民代表 3名

家族代表 1名

事業所関係者 6名

(議題)

1、あいさつ

2、出席者自己紹介

3、施設からの報告

・令和6年度事業報告・令和7年度事業計画

・現状報告(利用者推移・ヒヤリハット・事故報告)

4、出席者からの意見、感想

(意見交換内容)

・行政より…ニーズとして介護認定を受けたい方が増えている

(背景としては帰省してみると親の状況が悪化している等)

Q、デイサービスの利用は増加しているのか？

A、(デイサービスより)

…新規が増えているようには思わない

(あんしん支援センターより)

…ケアマネも新規がないと言っている

(祖父母が〇〇の事業所だったので両親も…等大きな事業所に依頼が集中する傾向にある)

…斐川町内デイサービスも多い

本人に合う事業所をさがして利用につなげている

…認定を受けても 1/3 が未利用(本人が嫌だと言って利用につながらず)

…要介護から要支援になる人が多い

・地域住民代表より・・・どこにどうやって相談していいかわからない

困っている人は多いので、家族からの相談がもっとくればいい

困っている人と助けたい人がマッチしていない

・事業所より・・・

Q、40～50代向けの勉強会は地域の中であるのでしょうか？

A、(地域住民代表より)

・・・自分のことにならないと火がつかないようで、セミナーを開催しても人が集まらない

(家族代表より)

・・・イベントと一緒にあったり、健康セミナーと関連付けてはどうか

介護と医療が連携して一連の流れで行なってはどうか

(地域住民代表より)

・・・事業所側が待っているだけではだめではないか

近いうちに介護者となりえる世代に向けて発信していくことが必要

・家族代表より・・・こうやったら利用できますや、どんなところなのか分かりやすくなっているといい

・地域住民代表より・・・会社としても介護がしやすい体制作りが必要な時代になっている

例えば、介護が終わったらまた一緒に働きましょう

親の面倒をみながら働けるような仕組み作り

〈会議を終えて〉

・地域の中には困っていても、どこにどう相談していいのかわからない方がまだまだ多く支援が行き届いていないことを改めて感じた

・地域に貢献したいという思いだけでは何の支援にもなっていないことを痛感した

・コミセンへパンフレットを置かせてもらったり、地域のイベントに積極的に参加していきたい。また、ホームページ等も上手に活用し、事業内容の周知にも努めていきたい